

JVDNシステムによる 火山観測データの利 用ガイド

2020年度版

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
火山研究推進センター

目次

- 目次
- 1. 本ガイドのねらい
- 2. JVDNシステムに登録されているデータ
- 3. JVDNシステムの利用規約
- 4. JVDNシステムの簡単な使い方
- I. データの見方
 - ① 火山観測点の位置や観測項目
 - ② 地震計
 - ③ 空振計
 - ④ GNSS
 - ⑤ 傾斜計
 - ⑥ SAR
 - ⑦ 岩石コア試料
 - ⑧ 火山碎屑物（降灰調査）データ
- II. JVDNシステムの高度な使い方
 - ① ログイン
 - ② データダウンロード
 - ③ 問い合わせる
 - ④ 研究成果を登録する
 - ⑤ 資料を作成する
- 4. 用語
- 5. 参考文献
- 6. 索引

1. 本ガイドのねらい

- 本ガイドは、防災科学技術研究所が次世代火山研究推進事業で開発を進めているJVDNシステム※（火山観測データ一元化共有システム）に登録されているデータをより広く活用してもらうために作成したものです。
- JVDNシステムの使い方や、提供されているデータの見方などを紹介しています。
- JVDNシステムとは、日本で火山観測を行っている研究機関や大学、行政機関のデータをオンラインで共有する仕組みです。
- JVDNシステムを通じて、データの共有や活用を進め、組織間や研究分野間の連携を促し、火山研究の発展や防災に貢献することを目指しています。

※JVDNとは、Japan Volcanological Data Networkの略です。

2. JVDNシステムに登録されているデータ※

- 防災科学技術研究所
 - 基盤的火山観測網（V-net）のデータ
 - 地震計、傾斜計、GNSS、気圧計、雨量計
- 気象庁
 - 火山観測網のデータ
 - 地震計、傾斜計、GNSS、空振計
- 国土地理院
 - GIS画面の背景地図に国土地理院の地理院タイルを使用
- 山梨県富士山科学研究所
 - 富士山忍野観測点のデータ
 - 地震計
- 神奈川県温泉地学研究所
 - 箱根山の火山観測網のデータ
 - 地震計、傾斜計

※2020年3月末時点です。ここに書かれていないデータも登録を進めています。

3. JVDNシステムの データ利用に関する利用規約

1. 本規約について

- この利用規約（以下、「本規約」といいます。）は、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、「防災科研」といいます。）が運用するJVDNポータルサイトによって提供される文章、見出し、図表、写真（それらを総称して以下、「コンテンツ」といいます。）、及びデータの利用に対して適用されます。
- 本規約とは別に防災科研が別途定める利用規約及び諸規定（以下、「諸規定」といいます。）は、それぞれ本規約の一部を構成するものとします。
- 本規約の規定と前項の諸規定の内容が異なる場合には、当該諸規定の内容が優先して適用されるものとします。
- 防災科研は利用者の了解を得ることなくこの規約を変更することがあります。この場合に、利用条件は、変更後の利用規約によるものとします。
- 変更後の規約は、防災科研が別途定める場合を除き、ポータルサイト上に表示した時点より、効力を生じるものとします。
- データの種類ごとに本規約とは別のガイドラインが定められている場合は、本規約の一部を構成するものとします。
 - 「降灰調査データ」については、内閣府が定めたガイドライン（次ページ）が適用されます。

2. データの所有権及び著作権について

データの所有権及び著作権は、それぞれのデータ提供者にあります。データ提供者がデータポリシーを定めている場合は、合理的な範囲でそのポリシーが適用されます。

3. ユーザ登録

- 本サイトは、データの利用状況等をよりの確に把握して、よりデータの活用を図るため、また研究者間の共同研究を活性化するため、ユーザアカウントとパスワードによる認証方式を採用しています。ユーザ登録の上データ利用を行ってください。
- ユーザ登録をされた方は、本規約に合意したとみなします。

4. データの利用について

・ 出典、クレジットの明記

- 提供されたデータを含む資料や研究成果を公表する場合は、下記の例にならって、クレジットをつけてください。
 - 本資料は、〇〇〇〇のデータを用いて作成している。〇〇〇〇、△△△△のデータを使用。
- データ提供者から別途指定がある場合は、それに従ってください。
- データを引用する場合は、データ提供者が指定する出典を明記してください。

・ 生データの利用について

- 防災科研でアーカイブされている生データは、本サイトからデータ提供者に問い合わせ、合意が得られれば防災科研からダウンロードすることができます。
- その場合は、データの利用方法はデータ提供者の指示に従ってください。
- 本サイトからリンクされている外部のWEBサイトからデータをダウンロードする場合は、そのWEBサイトに記された利用規約に従ってください。

・ 大量のデータの利用について

- 大量のデータは、通信容量の問題からダウンロードできない場合があります。研究所においてデータ取得作業を行って頂くことにより利用できることがありますのでお問い合わせください。
- なお、データ提供にあたり特別な作業が必要な場合は、有償となる場合があります。

5. 成果の報告

- 取得したデータを利用して成果を得た場合には、必ずその成果をユーザ用ページにて登録してください。

6. データの再配布、改変の禁止

- データの再配布、改変を禁止します。
- データの利用状況の把握のため、同じ組織や同じ研究室内でのデータの再配布も禁止します。

7. 利用の制限

- ユーザの所在の日本国内外を問わず、誹謗中傷や信用を毀損する内容を含むもの、公序良俗に反するもの、法律・法令に違反するものへの利用及び引用は、禁止します。

8. アカウントの停止

- 本規約に違反したユーザは、アカウントを停止する場合があります。

9. 免責

- 防災科研及びデータ提供者は、データを利用して利用者が行う一切の行為、損害について、いかなる責⁶任も負いません。

共有された降灰調査データの流通及び利用に関するガイドライン

出典：内閣府火山防災に係る調査企画委員会（第4回）
会議資料3-1 降灰の現地調査の連携・データ共有の検討チーム 報告（令和2年3月19日）

1. データ、利用者の定義

本ガイドラインにおいてデータの流通及び利用の対象となるのは、防災科学技術研究所の火山観測データ一元化共有システム（JVDN※1）システム）ならびに、気象庁が中心となり各機関が連携調査を実施する際に使用されるメール及び紙媒体によって共有された降灰調査データとする。本ガイドラインは、自らが提供した降灰調査データ以外のデータの利用を希望する際に適用される。

※1 Japan Volcanological Data Network

2. データ提供者向けのルール

- (1) 【記入すべき項目】提供者の連絡先と必須共有項目(※2)を記入した上でデータを共有する。
- (2) 【防災対応活用に関する承諾】防災対応に資するため、共有データの必須共有項目については、行政機関により即時公開される可能性があることを了承した上で、データ共有を行う。
- (3) 【JVDNシステム利用規約の遵守】JVDNシステムを使用してデータを提供する場合は、JVDNシステムの利用規約にも同意する。

※2 調査地点、調査者・調査機関、調査日時、調査方法、降灰量(※3)

※3 降灰厚、単位面積あたりの降灰重量、降灰の有無のうち、少なくとも1つ

3. データ利用者向けのルール

- (1) 【データ出所の明示】共有されたデータを用いた資料を公表する場合はデータの出所(※4)を明示する。
- ※4 必須共有項目の調査者・調査機関
- (2) 【データの無断利用の禁止】共有された降灰調査データについては無断で利用してはならない。利用をする際は、必ずデータ提供者に利用許可申請を行う。気象庁、国土交通省砂防部局がデータ提供元である場合は利用許可申請の必要はない。
 - (3) 【防災対応に資するデータの活用】行政機関が防災対応のために、共有データの必須共有項目を、利用・公表する場合は、データ提供者への利用許可申請を必要としない。ただし、データの出所は明示すること。
 - (4) 【JVDNシステム利用規約の遵守】JVDNシステムによって共有されたデータを利用する場合は、JVDNシステムの利用規約にも同意する。

4. JVDNシステムの簡単な使い方

JVDNシステムのポータルサイトへのアクセス

パソコンのブラウザを開き、アドレスバーに<https://jvdn.bosai.go.jp>と入力してください。Chrome, Firefox, Edge, Safariの各ブラウザに対応しており、Internet Explorerには対応していません。画面が小さいスマートフォンよりも、画面の大きいパソコンやタブレット端末で利用することをお勧めします。

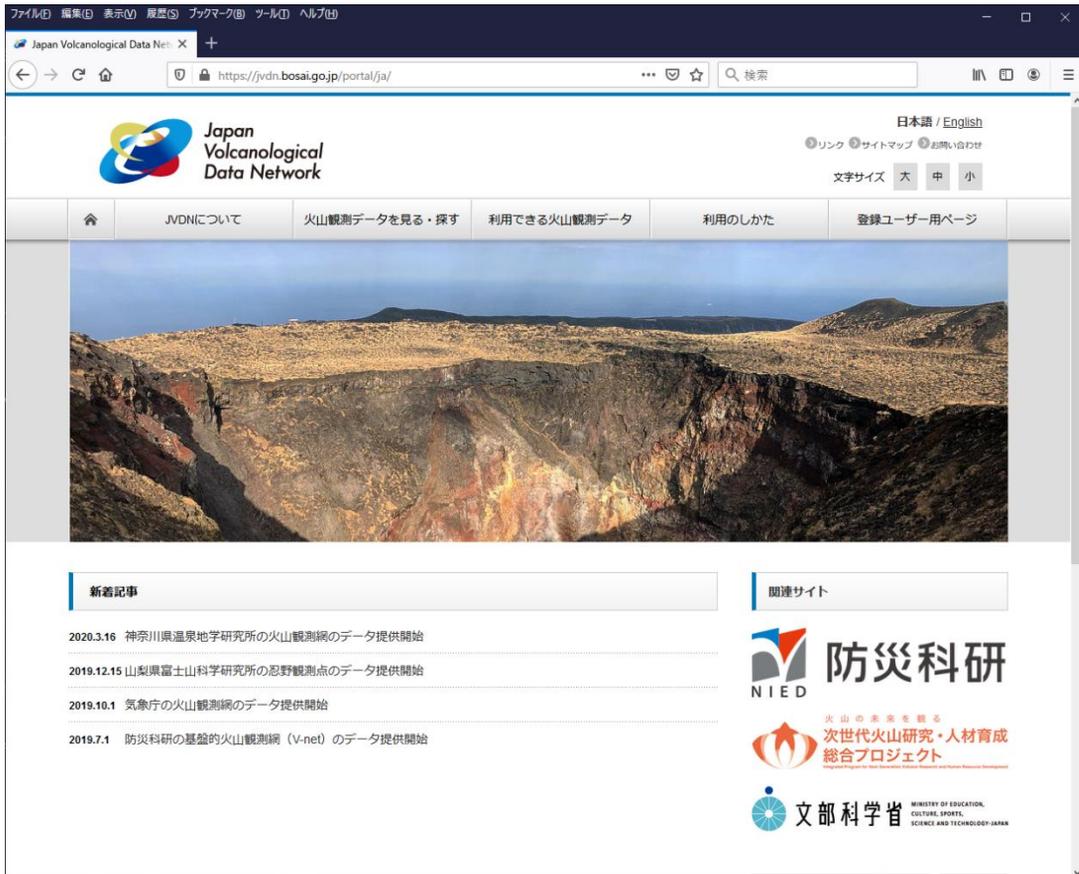


図1 JVDNシステムのポータルサイト

データ表示画面の開き方

データ表示画面は、2種類あります。それぞれの火山について登録されている全てのデータを表示できる画面（登録データを閲覧）と、それぞれの火山の複数種類の観測項目の最新データを一括して表示できる画面（最新データを閲覧）です。

過去のデータも含め、登録されているデータを見る場合

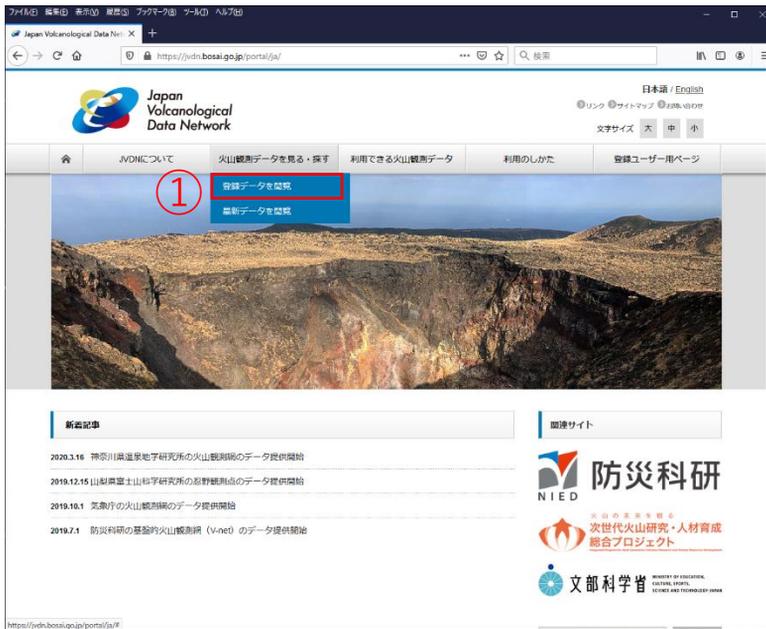


図2 JVDNシステムポータルサイトのトップページ

① トップページメニュー「火山観測データを見る・探す」の「登録データを閲覧」をクリックしてください。

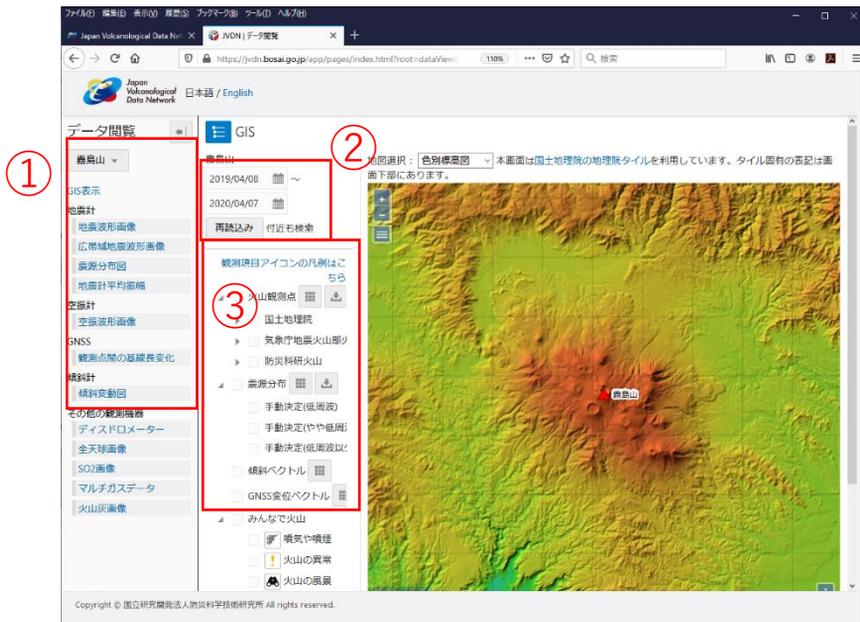


図3 データ閲覧画面

- ①データ閲覧画面の左上にあるプルダウンメニューから火山を選び、その下のリストから見たいデータを選んでください。（デイスドロメータから下の項目は、非公開データです）
- ②右隣のリストの一番上にある入力フォームにデータを見たい期間や日付に変更して、「再読み込み」ボタンをクリックしてください。
- ③「再読み込み」ボタンの下に、観測点名をデータ名が表示されたら、表示したいものにチェックを入れてください。

注意点 1

多数の観測点を選択した場合、表示に時間がかかる場合もあります。

火山の最新のデータを一括してみる場合

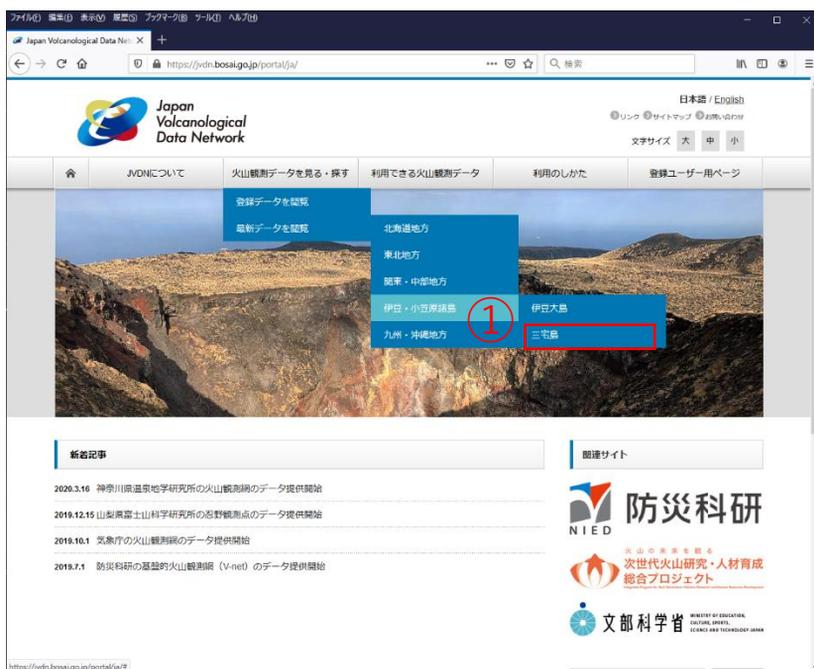


図4 JVNDシステムポータルサイトのトップページ

① トップページメニュー「火山観測データを見る・探す」の「最新データを閲覧」から、火山を選び、クリックしてください。

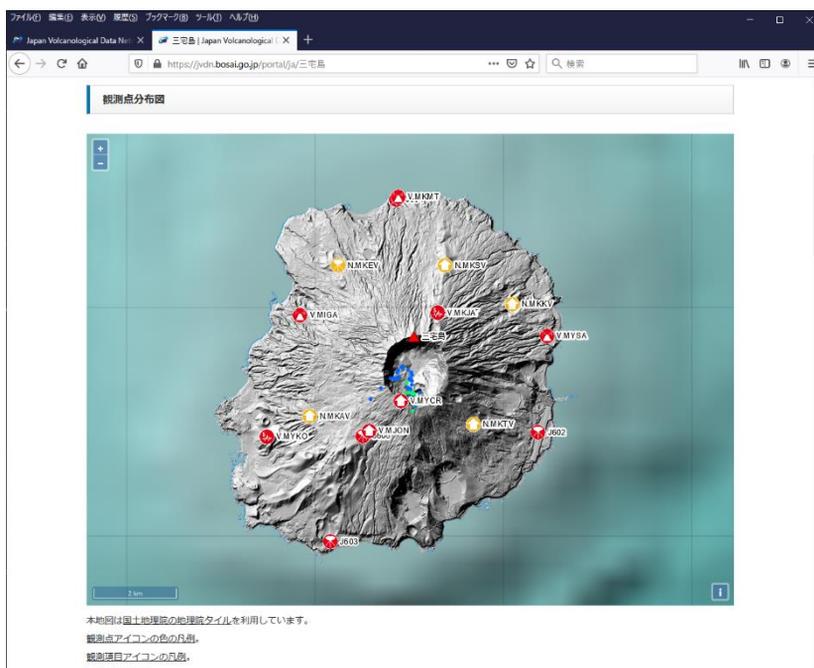


図5 三宅島の最新データのページ

最新の火山観測データのページには、観測点分布図、準リアルタイムの地震波形画像、地震計平均振幅などが表示されます。

注意点 2

最新の火山観測データのページは、全ての図が表示されるまで1分以上かかる場合があります。10分以上たっても表示されなかったり、エラーが表示された場合は、ウィンドウを閉じ、再度ページを開いてください。

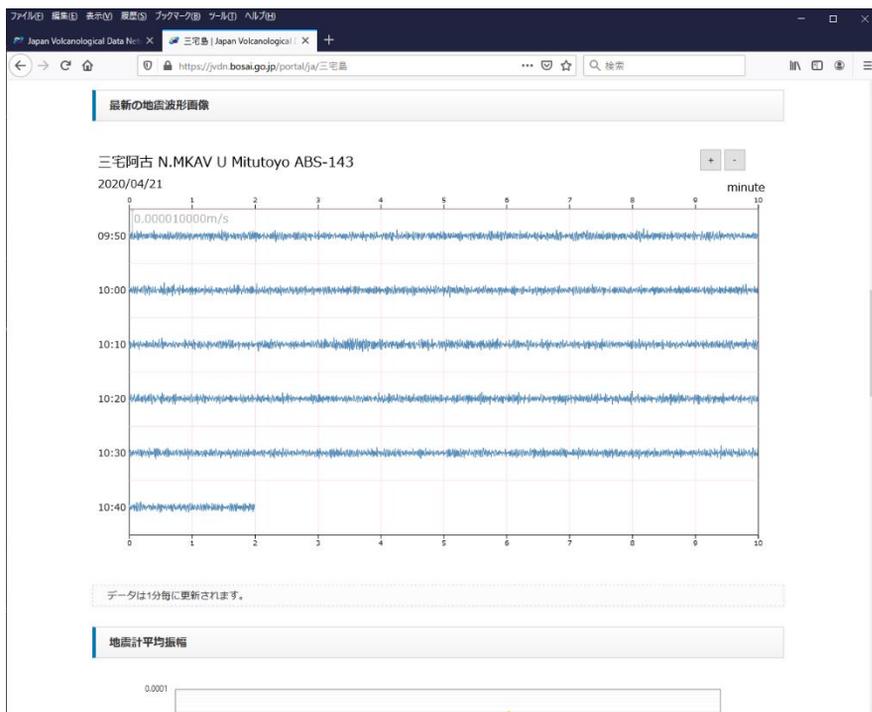


図6 地震計の準リアルタイム波形画像

注意点 3

観測点分布図に表示される震源データは、防災科学技術研究所が地震波のP波やS波を手作業で読み取って計算した最近1年間のものです。最新の震源データが作成されるには10日から2週間程度かかる場合があります。また、震源が表示されるのは、霧島山、富士山、伊豆大島、三宅島、那須岳だけです。その他の火山は表示されません。